



# サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマット

サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 (NAS-Port) フォーマット機能を使用すれば、RADIUS サーバグループごとに設定をカスタマイズできます。この柔軟性によって、グローバルフォーマットの代わりに、カスタマイズされたネットワークアクセスサーバ (NAS) ポート フォーマットを使用できます。

- [サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットに関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの設定例 \(4 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(5 ページ\)](#)
- [サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの機能情報 \(6 ページ\)](#)

## サーバ単位グループ レベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの前提条件

- 認証、認可、およびアカウンティング (AAA) コンポーネントを含む Cisco IOS イメージを実行する必要があります。

# サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットに関する情報

## RADIUS 属性 5 フォーマットのカスタマイズ

Cisco IOS リリース 12.3(14)T よりも前の Cisco IOS ソフトウェアでは、アクセス要求またはアカウント要求で送信された RADIUS 属性をグローバルにカスタマイズすることが可能でした。設定可能な各属性では、RADIUS サーバとの通信時の動作がカスタマイズできました。サーバグループの実装により、グローバル属性設定の柔軟性が制限され、ルータと相互に通信する可能性のあるさまざまな RADIUS サーバをサポートするのに必要な、種々のカスタマイズに対処できなくなりました。たとえば、**global radius-server attribute nas-port format command** オプションを設定すると、RADIUS サーバと相互に通信するルータのすべてのサービスが同じ設定で使用されていました。

Cisco IOS リリース 12.3(14)T では、ルータを設定して、サーバ単位のグループを柔軟に上書きできるようになりました。RADIUS サーバ上のさまざまなサービスタイプに固有の名前付け方式を使用するようサービスを設定できます。サービスタイプは、独自のサービスグループを使用するように設定できます。この柔軟性により、NAS-port フォーマットをカスタマイズして、グローバルフォーマットの代わりに使用できるようになりました。

# サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの設定方法

## サーバ単位グループレベルの RADIUS 属性 5 フォーマットの設定

サーバ単位グループレベルの RADIUS 属性 5 フォーマットをサポートするようにルータを設定するには、次の手順を実行します。



- (注) サーバ単位グループの機能を使用するには、名前付け方式リストをサービス内で積極的に使用する必要があります。1つのクライアントを特定の名前付け方式を使用するように設定して、他のクライアントをデフォルトフォーマットを使用するように設定できます。

### 始める前に

次の手順を実行する前に、まず AAA の方式リストを設定して、お客様の状況に適用できるようにする必要があります。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **aaa group server radius *group-name***
4. **server *ip-address* [auth-port *port-number*] [acct-port *port-number*]**
5. **attribute nas-port format *format-type* [*string*]**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例：  Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例：  Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>aaa group server radius <i>group-name</i></b> 例：  Router (config)# aaa group server radius radius1	異なる RADIUS サーバ ホストを別々のリストと方式にグループ化し、 <b>server-group</b> コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<b>server <i>ip-address</i> [auth-port <i>port-number</i>] [acct-port <i>port-number</i>]</b> 例：  Router (server-group)# server 172.101.159.172 auth-port 1645 acct-port 1646	グループ サーバー用の RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
ステップ 5	<b>attribute nas-port format <i>format-type</i> [<i>string</i>]</b> 例：  Router (server-group)# attribute nas-port format d	サービスの種類ごとに固有の名前付け方式を使用するようにサービスを設定します。  • サービス タイプは、独自のサーバ グループを使用するように設定できます。

## サーバ単位グループレベルの RADIUS 属性 5 フォーマットのモニタリングとメンテナンス

サーバー単位グループレベルの RADIUS 属性 5 フォーマットをモニターおよびメンテナンスするには、次の手順を実行します（**debug** コマンドは個別に使用される場合があります）。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **debug aaa sg-server selection**
3. **debug radius**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>debug aaa sg-server selection</b> 例： Router# debug aaa sg-server selection	ルータ内の RADIUS および TACACS+ サーバグループシステムが特定のサーバを選択している理由に関する情報を表示します。
ステップ 3	<b>debug radius</b> 例： Router# debug radius	サーバグループが特定の要求に対して選択されたことを示す情報を表示します。

## サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの設定例

### サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 フォーマットの例

次の設定例は、デフォルトが形式 F:tips-migration を使用する一方、RADIUS 属性 5 を送信しないよう選択された専用線 PPP クライアントを示します。

```
interface Serial2/0
  no ip address
  encapsulation ppp
  ppp accounting SerialAccounting
  ppp authentication pap
aaa accounting network default start-stop group radius
aaa accounting network SerialAccounting start-stop group group1
aaa group server radius group1
  server 10.101.159.172 auth-port 1645 acct-port 1646
  attribute nas-port none
radius-server host 10.101.159.172 auth-port 1645 acct-port 1646
radius-server attribute nas-port format d
```

## その他の参考資料

ここでは、RADIUS ベンダー固有属性（VSA）および RADIUS Disconnect-Cause 属性値に関する関連資料について説明します。

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS コマンド	『 <a href="#">Cisco IOS Master Commands List, All Releases</a> 』
セキュリティ コマンド	『 <a href="#">Cisco IOS Security Command Reference</a> 』
セキュリティ機能	『 <a href="#">Cisco IOS XE Security Configuration Guide: Securing User Services, Release 2</a> 』
セキュリティ サーバプロトコル	『 <a href="#">Cisco IOS XE Security Configuration Guide: Securing User Services, Release 2</a> 』の「セキュリティ サーバプロトコル」の項
RADIUS Configuration	「RADIUS の設定」機能モジュール。

### 標準

標準	タイトル
インターネット技術特別調査委員会（IETF）インターネット ドラフト：Network Access Servers Requirements	『 <a href="#">Network Access Servers Requirements: Extended RADIUS Practices</a> 』

### MIB

MIB	MIB のリンク
なし。	選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェアリリース、およびフィーチャセットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 <a href="http://www.cisco.com/go/mibs">http://www.cisco.com/go/mibs</a>

### RFC

RFC	タイトル
RFC 2865	『 <a href="#">Remote Authentication Dial In User Service (RADIUS)</a> 』

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html">http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</a></p>

## サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 NAS-Port フォーマットの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1:サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 (NAS-Port) フォーマットの機能情報

機能名	リリース	機能情報
サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 (NAS-Port) フォーマット	Cisco IOS XE Release 3.9S	サーバ単位グループレベルで指定された RADIUS 属性 5 (NAS-Port) フォーマット機能を使用すれば、RADIUS サーバグループごとに設定をカスタマイズできます。この柔軟性によって、グローバルフォーマットの代わりに、カスタマイズされたネットワークアクセスサーバ (NAS) ポートフォーマットを使用できます。  次のコマンドが導入または変更されました。 <code>\tips-migration attribute nas-port format。</code>





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。